

生涯学習 教える楽しさ、学ぶよろこび

上田自由塾 だよい

平成27年10月

第14号

上田自由塾 役員改選

去る9月15日の総会におきまして役員改選が議決され、新塾長に滝澤修一さんが就任いたしました。27年度5月総会に於いて議決され、就任をご報告いたしました石川美和子副塾長と共に、今後も色々な課題に講師、塾生の皆様のお力を頂きながら、市民の皆様の生涯学習への一助となりますよう事務局一同専心してまいりますので、よろしくお願いいたします。

新塾長 就任挨拶

新塾長 滝澤 修一

—「上田自由塾」成立の経過と理念、志を忘れることなく—

この度、生涯学習上田自由塾の塾長を務めることとなりました。私自身は、これまで自由塾の活動に携わってきたものではありません。しかし、縁あって、お誘いをいただき、そして自由塾の成立の経過と理念、そしてその素晴らしさを知り、お引き受けすることと致しました。何よりも、講師と塾生が自らの手で素晴らしい学びの場を作り上げていることに感激しました。山口忠久先生のこれまで多大のご尽力に心から敬意を表するものです。私には、同様の働きは到底できませんが、その志を忘れることなく、この自由塾が一層発展できますよう微力ながら務めを果たす所存です。皆様方のご協力なしには、何もできないと思います。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



新副塾長 就任挨拶

新副塾長 石川 美和子

—「上田自由塾」の取り組みに参画できることに感謝して—

高い理念に基づいて生涯学習「上田自由塾」が設立され、昨年は創立10周年を迎えました。この間、幾多の苦難を乗り越えて会員数延べ3000人の今、関係各位の信念を曲げずにたゆまぬ努力をされたご苦労に頭が下がります。

本年度退職された遠藤先生の後任のお話を頂きました時、非力な私がこの重責を担うのはとても無理と思いましたが、全国的にも数少ない「上田自由塾」の取り組みに参画出来る事は感謝すべきことで、講師の先生方会員の皆様のお力添えを頂いて、塾長を補佐するという役割を果たして参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。





塾長 退任挨拶

山口 忠久

—市民・講師塾生の皆様に敬意と感謝を—

平成15年7月「生涯学習推進懇話会」が市民の公募委員によって組織され、試行錯誤、朝令暮改の連続のなか、行政主導から市民参加型の生涯学習を構築するという新しいシステムのコンセプトが固まり、「上田自由塾」を立ち上げることとしました。すでに上田に根付いている大正期の上田自由大学の学習と、住民の学習意欲に支えられ市民の賛同を得て、必ずや長く太く継続することを信じてのスタートでした。



当初の想いを、ある10年継続の講師が次のように語っております。

「自由塾の発起人の方々は、自由塾にお金はない、場所もない、何もないけれど知恵はある人々」、「何もない所から出発することこそ誇りに思う」と語られました。見ていただいていたのです。私たちは準備委員から始まってすべての構成を公募によることとしました。もちろん講師も公募です。この理念が自由塾を大きくしたと言えます。教えたい講師の皆さんと、それをかき立てる塾生の学習意欲、そしてそれを証明する数の力。それはとりもなおさず、自由塾の存在が、生涯学習の場として市民にとって必要なものであり、またこのシステムの理念が市民に共感をよんだ結果ではないでしょうか。今ある自由塾は、市民（講師、塾生）のおかげです。市民の皆様に敬意と感謝を申し上げます。しかし、本日まで決して順風満帆の歩みではありませんでした。一瞬たじろぐほどの衝撃を受けたこともありました。市民の皆様の共感に支えられて、誇り高き「市民が主役」の生涯学習推進のパイオニアとして悔いることなく突き進んでまいりました。

最後になりましたが行政の卓越した見識とご支援、そして推進委員として、また準備委員などそれぞれのお立場でご尽力いただきました多くの皆様に、敬意と感謝申し上げ退任の挨拶といたします。

お疲れ様でした。

**これからも名誉塾長としてお力を頂ければと存じます。
よろしく願いいたします。**



副塾長 退任挨拶

遠藤 哲夫

—自由塾は生涯学習の場であった—

今年も真夏の太陽が容赦なく熱い日差しを降り注ぎました。あれから半年余り、生活のリズムを造れぬまま今まで出来なかった家の内外の片付けに追われています。

在職中は講師、塾生そして山口塾長以下事務局の皆様方には大変お世話になりました。思いがけない足掛け8年に及ぶ務めは私にとって充実の日々でした。



個性的な講師、塾生の方々とお話しさせて頂いた事が生活する源となりました。それは私にとっての生涯学習とも言えるものでした。今後も皆様との新たな出会いを思い描き、そして期待し、何かの講座に参加できればと考え、また共生できる世界を求めていきたいと思っております。ありがとうございました。

お疲れ様でした。

**遠藤副塾長の広くゆったりとした心を講師、塾生は大切に思っています。
身体に気を付けてお過ごしください。**



“いま”を、素敵に過ごしているあなたの“未来”のために

備えてあんしん！エンディングノート講座 講師 岩下博明



講座風景

自分自身に万が一のことがあった時のための備えや自分史作りとして注目されているエンディングノート。

「書いてみたいのだけど何から始めたら良いのだろうか?」「残された家族・友人に想いを伝え、役に立つための書き方のポイントは?」より良いエンディングノートを創るポイントを、介護や葬儀・相続手続等エンディングノートの各分野の専門家の先生を毎回ゲストにお迎えして講師・受講生一緒になって学習しております。



【塾生】 *相続について自分の身に起こるというイメージがなく、常に他人事のように考えていました。今回具体的に手続きの方法等教えていただき、自分として準備しておくべきこと、心構え等について知ることが出来ました。

*今回受講したことにより終活（葬式、お墓）の在り方について方向性を見出せました。ありがとうございました。

木を焼き焦がして新しい楽しみを発見！ ウッドバーニング教室 講師 竜川恵美子



講座風景

あまり馴染みのない名前ですが、ウッドバーニング（焼き絵）は、木を電気ペンで焼き焦がして絵や文字を描く技法です。当講座では電気ペンの扱いから始まり、様々な作品づくりを進めています。木の持つ自然な形、風合い、焼き色の美しさを味わいつつ、和やかな教室の雰囲気を読んでいきたいです。



【塾生】 *初めての方はテクスチャー、初心者は2作目のウエルカムボード、ベテラン組は大作、それぞれのペースで楽しみながら制作しています。少しずつ扱いも慣れ、楽しくなってきました。また雰囲気も和やかです。

*充実した時間でした。ときにおしゃべりも楽しく過ごせました。

こどもたちの可能性を伸ばす キッズバレエ 講師 青木いつみ

キッズバレエを担当しています。キッズバレエでは、バレエの楽しさやバレエを身近に感じることを目的としています。子ども達の成長のスピードは速く、確実に自分の力にしています。毎回会えるのがとても楽しみです。私自身もレッスンを通して沢山の学びがあります。子ども達と一緒に自分も成長しながらこの時間、この出会いを大切にしていきたいです。



講座風景

【塾生保護者】 *子どもが生き生きとして参加しています。無理のない楽しい計画がそうさせているのでしょうか。

*子どもの参加の喜びを見て毎週でも講座を開いていただければと思います。それほど講座日を楽しみにしています。

*バレエを学ぶだけでなく年齢差のある仲間と共に、人間的なふれあいを大切にしている事がうかがえる。

固定概念からはみ出す

たのしい絵手紙 講師 米津福祐

教室にいる一人一人が、それぞれ異なった人生を送ってきました。その貴重な体験をベースに自分が今、持っている力だけを頼りに・・・だから真剣に描く。余計な事を考えずに、描いているものに集中して熱心に。格好つけたりうまく見せようとか、ごまかしや手抜きをしない作品作りをしよう。



【塾生】＊毎回描いた全員の絵を批評して頂き勉強になります。
＊回を重ねるたびに絵が皆さん上達している事がわかります。



講座風景

＊今までやってきた絵手紙の手法と全く異なる方法で描いています。なにか新鮮な学びの講座でうれしいです。
＊講座会場が広くなり、ゆったりとした中での学習ができることありがたい。
＊はっと思った。講座を休む受講生が皆無。それは講師の先生の鋭い感性での指導と絵に対する情熱が、そうさせているのかなと思った。

心をみがく五行歌

だれでも五行歌 講師 風祭智秋

五行歌は「五行で縦書き」だけがルールの新しい文芸で、予備知識は何も要りません。「嬉しかった!」「面白かった!」「悲しかった」「怒った」「悔しかった」など、色々な感情を素直に五行にしてくださいと、あつという間に良い作品になります。五行歌を作るという事は、何かもの考える、思うということに直結します。何も考えず、感じる事が無ければ五行歌は生まれません。五行歌は、自分の心を見つめ直すきっかけになり、心を磨いてくれます。みんなの心が磨かれれば、地域にも日本全体にもより善い心の波が広がるはずです。そんなことを願って、信じて五行歌を皆さんと楽しんでいます。



【塾生】＊普通市井に暮らす方が、自然な気持ちそのま

風が吹いたよ
輝汰こうた
生まれ初めて
味わった
風だよ

節子

ナムアミダアブツ
ナムアミダア
念仏のご唱和に導かれ
振り返り振り返り
雲海を渡る父が行く

幸代

八重桜
重たき程に花つけて
風の吹くまま大きく揺れて
これも生き方と
言わんばかりに

すみ子



講座風景

まに詠んだ五行歌としてまとめた作品を味った。その時「私とおなじだ!」と感動した。五行歌がどれだけ心の救いになるのか、ということを感じた。
＊特に文才がなくては大だめ、知識がたくさん必要だとか、そういうことでなく、誰の心にも素晴らしい五行歌を作る種子がちゃんと備わっているのだということを知った。

夏季講座



夏休みの楽しい思い出と作品がいっぱい！！

7月25日から8月8日 今年も親子でお料理や作品作りが楽しくて///
10名の講師による23の講座が開催されました。

カエルちゃんのパン
おいしそう！

おうち Café 親子パン教室



えっとーここを
こうやって・・・と
出来たー！！



絵の具遊びと光の万華鏡



絵の具3色の配合で虹の出来上がり！

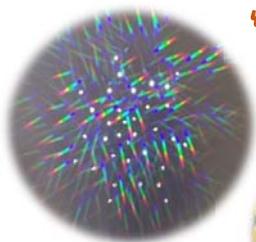
ゆかたの着付け教室



すてきなかがが
いっぱい！



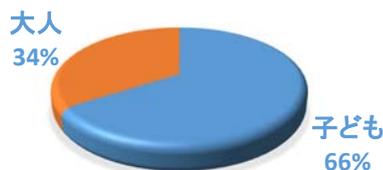
籐でカゴを編んでみよう



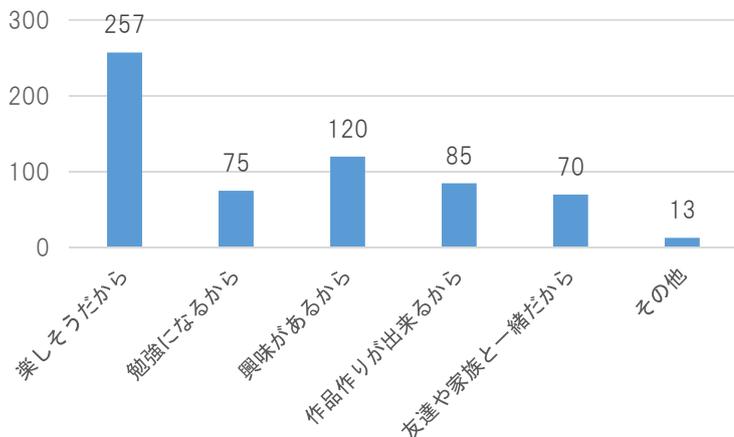
手作り万華鏡で
きれいな光が・・・！

夏季講座参加状況

参加人数・474名



参加した理由 (複数回答)



参加のきっかけ (複数回答)



《講師から》

- ・郊外でしかあまり見られない昆虫や植物の観察で自然体験が出来たようだ。
- ・子供たちの作品を褒める一言がやる気倍増、最後までキッチンと仕上げ喜び姿を見ると、用意は大変ですが物づくりの楽しさを少しでも味わってもらえたかなあと感じます。
- ・おばあちゃんとお孫さんの参加があり、家で待っている家族にと、一口も食べずに大切に持ち帰る姿があり、微笑ましい感じがしました。
- ・討論が活発で、子供たちは小さな科学者になろうと一生懸命予想し、保護者も忘れていた記憶を掘り起し、親子対等に議論を交わしました。
- ・夏休みの自由研究にと写真を撮ったり、メモをしたりと一生懸命でした。
- ・昨年参加して楽しかったからまた参加したという方が多くいて嬉しかった。
- ・時間が長いので、休憩はそれぞれに任せていましたが、席を立つことなく熱心にやってくれて、素晴らしい作品が出来ました。
- ・野菜嫌いのお子さんが慣れない包丁を使い、自分で切ったその野菜を食べてくれた時は、料理作りの楽しさを感じてくれたかなと嬉しく思います。
- ・子どもがメインですが、同伴していただいた保護者の皆様のお手伝いも必須です。
- ・後片付けや準備を手伝ってくれる子供たちが多くなってきて頼もしいし嬉しいです。
- ・長い丈の着物を上手に着るポイント、色々な帯の結び方など、工夫次第でうまく着るコツ。母娘の交流がしつけ教育にも繋がるのでは。

《参加した皆様からの感想》

- ・今年もこの講座を楽しみに待っていました。家ではなかなか出来ないパン作りやお料理に、親子で参加出来て思い出にもなりますし、先生の優しいご指導に子供達も料理に慣れてきたようで見られる喜びがあります。
- ・生地からこねて、パンが膨らんでいく様子を自分の目で見て感動しました。
- ・パンを作って挟むだけなら・・・と思いきや、カエルパンに！作品ぽくて子供達も積極的に参加していました。
- ・家では冷凍ピザしか食べてないので家で作ってみたいです。
- ・大人でも理解できていない事で、子どもと一緒に悩んで予想したり、考える事が出来てよかった。
- ・力の入れ方でカゴの大きさが変わってしまい、バランスをとるのが難しかった。
- ・浴衣や着物の着方、着せ方を母から子へと受け継ぎ、身近に感じられるようになり、工夫次第で上手に着られるようになることを先生から教えていただきました。

【来年も参加したい・・・312名】

【編集後記】涼しさを増し秋はそこまで来ています。今年の夏の猛暑、いかがお過ごしでしたか。ご健勝でご活躍のことと拝察いたしております。
11年ぶりの正副塾長の人事異動、山口塾長・遠藤副塾長の偉大なる足跡を残してのご退職、ご苦労様でした。滝澤塾長・石川副塾長と共に新たなる出発を！新旧の方々のご挨拶・夏季講座特集としましたので、6頁にいたしました。



生涯学習 上田自由塾だより【14号】
平成27年10月1日

編集／発行 生涯学習 上田自由塾 広報委員会
〒386-0017 上田市踏入2丁目1番15号池野第2ビル2F
TEL 0268-22-6840 FAX 0268-71-0384
Eメール uedajiyujuku@ivory.plala.or.jp